

③ リユースの推進

<事例紹介 2>

「学用品等のリユース促進について」

旭川市

教育委員会 学校教育部 学務課

主査 太田 一弘



学用品等のリユース促進について

令和8年10月29日

旭川市教育委員会学校教育部学務課

ASAHIKAWA CITY

1



本日の説明事項

- ・ 本事業の基本情報について
- ・ 事業開始に至る背景について
- ・ 事業内容について
- ・ 今年度の実績について
- ・ 来年度以降の取組について

2

本事業の基本情報について

【事業名】

子ども未来リユースバンク事業

○「子ども未来」

昨今の急激な物価高騰の影響を受けている「子育て世帯」へのダイレクトな経済的支援を通じた子どもの成長や学びを地域全体で支え、未来へつなぐというメッセージ

○「リユース」

家庭で不要になったまだ使える学用品を回収し、廃棄や処分ではなく、環境負荷を減らし、子どもたち自身にも「モノを大切にする」という環境意識を育む

○「バンク」

市民から広く物品の寄付を募って一度集約・管理し、それを必要とする人へ適切に分配する「循環のプラットフォーム」としての機能を表現



3

本事業の基本情報について

【事業概要】

市内小中学校に通う児童生徒を対象として、保護者の経済的負担となっているスキーやランドセル、鍵盤ハーモニカをはじめとする学用品等 11 品目を対象にリユースを促進する取組

○対象 11 品目

- ・スキー用具一式（スキー板、スキー靴、ストック） ・スキーウェア ・スキーゴーグル
- ・ランドセル ・鍵盤ハーモニカ ・中学校制服 ・彫刻刀 ・絵具セット ・習字セット
- ・裁縫セット ・さんすうセット

○事業形態

教育委員会による直営事業

※環境省「物価高対策に資するリユース等支援事業」採択事業

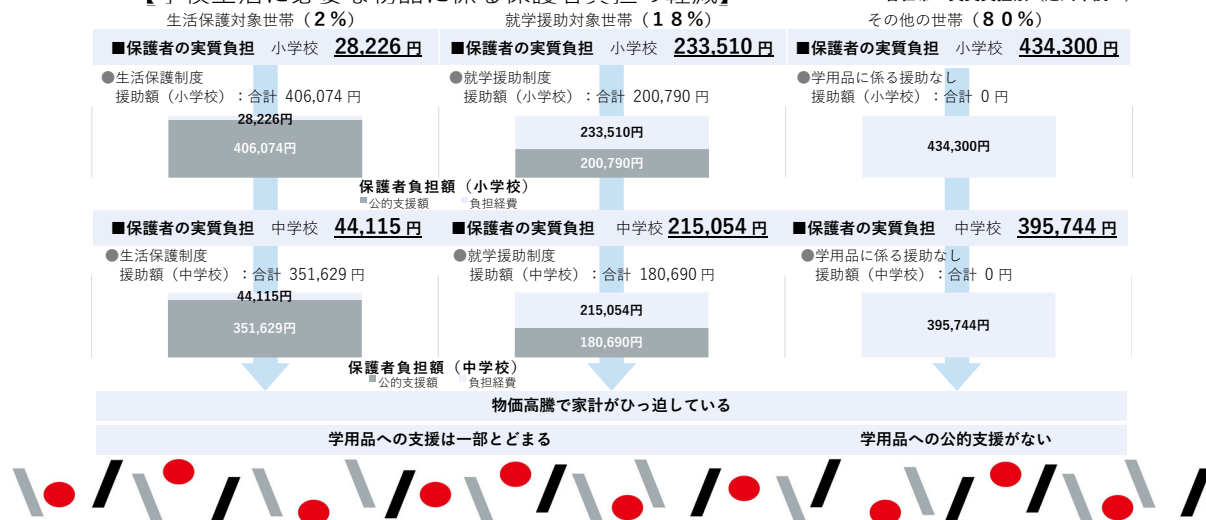


4

事業開始に至る背景について

【学校生活に必要な物品に係る保護者負担の軽減】

各世帯の実質負担額（旭川市調べ）



5

事業開始に至る背景について

【モノを大切に作る意識の醸成】

特に小中学生にとって身近な学用品のリユースを通して、現在使用している学用品を大切に使用する意識や次の人に繋ぐという思いを醸成

【保護者のニーズ】

令和7年度10～12月にかけてリユースに関して保護者アンケートを実施

○アンケート詳細

- ・回答人数／世帯数 3,586人／2,455世帯（回答対象19,839人） 回答率 **18.1%**
- ・アンケート内容
 - ①スキーと中学校制服のリユース希望
 - ②スキーと中学校制服を提供できる世帯
 - ③保護者のリユース希望物品



6

事業開始に至る背景について

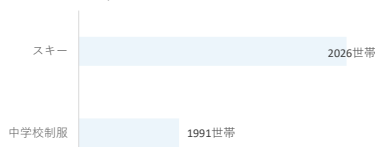
①スキーと中学校制服のリユース希望

有効回答2,455世帯



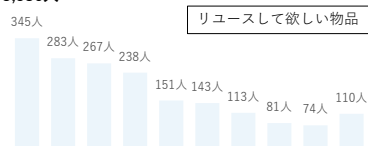
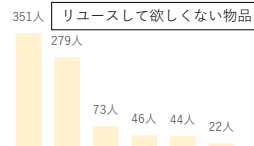
②スキーと中学校制服を提供できる世帯

有効回答2,455世帯



③保護者のリユース希望物品（スキー、中学校制服以外）

有効回答3,586人

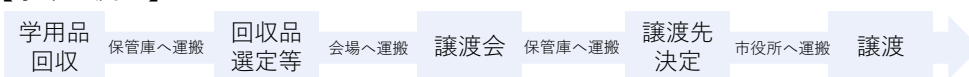


事業構築について

【事業構築に対する考え方】

令和8年度及び令和9年度は、複数の回収や譲渡を短期間で試行し、回収数や保護者からの意見等を参考に、令和10年度以降に向け、**対象品の見直し、運営方法の改善、PTAや地域団体との協力**など検討を進めていく。

【事業の流れ】



【事業スケジュール】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
回収会			学校回収・全市回収 (全6回)				全市回収 (全4回)					
回収BOX			BOX設置 (制服のみ)				BOX設置 (スキー以外すべて)					
譲渡							譲渡会開催 (全4回)					※譲渡会で余ったものを申出に応じて譲渡

今年度の実績について

【回 収】

○回収会

・回収方法

学校回収→子ども達の登校時に物品を持参し玄関前で回収

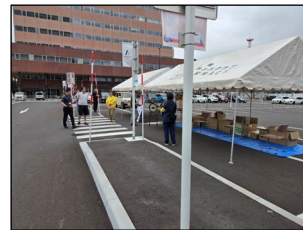
全市回収→市民が車で会場に乗り付け物品を提供（ドライブスルー方式）

・実施回数

全6回（学校回収3回、全市回収3回）



学校回収の様子



全市回収の様子



今年度の実績について

【回 収】

○回収BOX

・回収方法

総合庁舎・市有施設（公民館や市民センターなど）に回収BOXを設置

第1期 6月3日～ 7月 4日（制服のみを回収）

第2期 9月1日～12月25日（スキー用具以外を回収）



回収BOX設置図①



回収BOX設置図②



今年度の実績について

【回 収】

○周知方法

- ・市ホームページ
- ・広報あさひばし
- ・SNS
- ・学校保護者宛てメールアプリ



広報あさひばしの記事



Facebookに動画をUP



Xのポスト

今年度の実績について

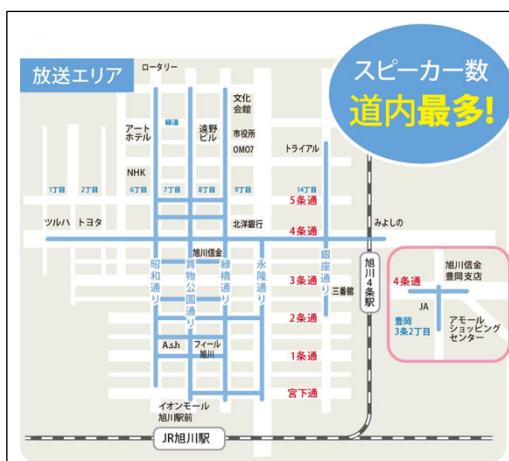
【回 収】

○周知方法

- ・街頭放送



買い物公園通り



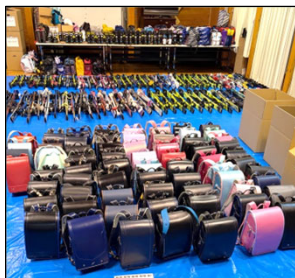
放送エリア

今年度の実績について

【回 収】

○回収結果

1 1 品目合計：**687点** (10月9日現在)



ランドセル70点
スキー86点



スキーウェア35点



鍵盤ハーモニカ104点



彫刻刀76点



今年度の実績について

【譲 渡】

○譲渡会

・譲渡方法

抽選譲渡→スキー用具、中学校制服、ランドセルなど**高額で人気のある物品**を対象に抽選で譲渡先を決定

先着譲渡→鍵盤ハーモニカや習字セットなど**個体差があまりない物品**を対象にお子さま1人2点まで譲渡

・実施回数

第1回	10月10日(土)	10:30~13:00	実施済
第2回	10月25日(日)	10:30~14:00	実施済
第3回	10月28日(水)	18:00~20:00	実施済
第4回	11月14日(土)	未定	



今年度の実績について

【譲 渡】

○周知方法

- ・市ホームページ
- ・学校保護者宛てメールアプリ
- ・地域情報誌広告
- ・促進啓発グッズ



促進啓発グッズ（オリジナルクリアファイル）



地域情報誌ライナー広告①



地域情報誌ライナー広告②



今年度の実績について

【譲 渡】

○第1回譲渡会結果

- ・来場者組数

抽選会場→**177組**（うち抽選申込者数207組）

先着会場→**104組**（うち物品譲渡人数84組）

- ・譲渡数

抽選会場→**86点**（スキー用具50点、スキーウェア27点、ランドセル9点）

先着会場→**166点**（彫刻刀52点、鍵盤ハーモニカ32点、習字セット29点、
絵具セット24点、スキーゴーグル17点、裁縫セット12点）

- ・第1回譲渡会アンケート

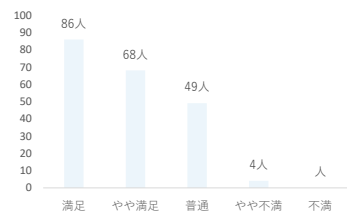
回答数 207人

- アンケート内容
- ①子ども未来リユースバンク事業の満足度
 - ②先着品を受け取れた人
 - ③リユース品の品質満足度
 - ④リユース品の提供協力について

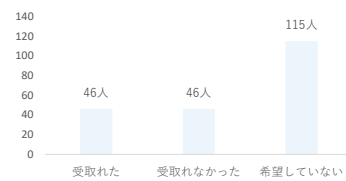


今年度の実績について

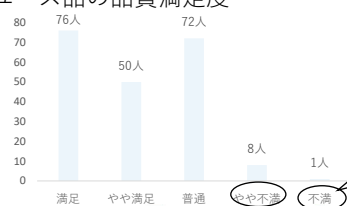
①子ども未来リユースバンク事業の満足度



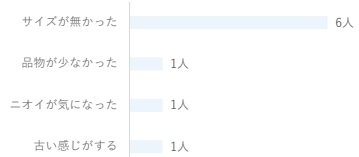
②先着品を受け取れた人



③リユース品の品質満足度

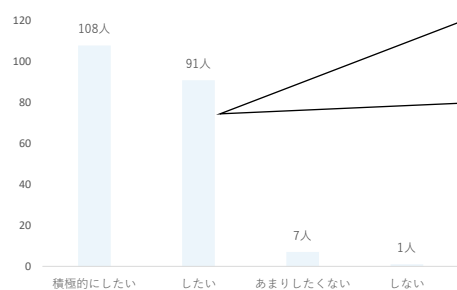


やや不満・不満の理由

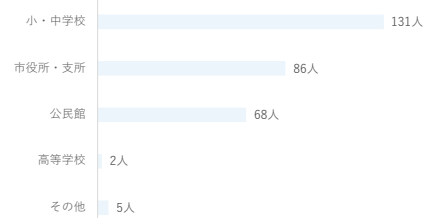


今年度の実績について

④リユース品の提供協力について



積極的にしたい・したいの中で提供できる場所



今年度の実績について



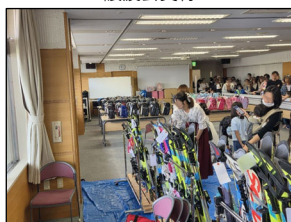
譲渡会受付



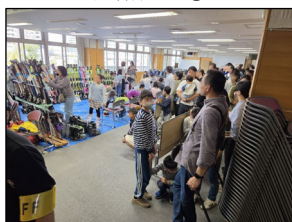
先着品会場①



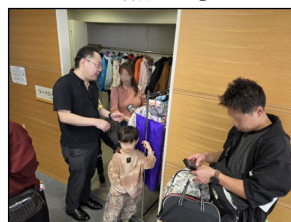
先着品会場②



抽選会場①



抽選会場②



抽選会場③



来年度以降の取組について

【今年度の実績を踏まえた整理】

- アンケート結果からわかること
 - ・リユース品の品質は満足度が高い。
 - ・スキー用具一式について、約150人が落選している。
 - ・先着品を希望していた方のうち5割が受け取れなかった。
 - ・リユース品の回収に協力的な保護者は小中学校での回収を希望している。
- 事業運営をしてわかること
 - ・教育委員会直営で実施できる方式で満足度の高い事業と行うことができた。
 - ・教育委員会の人員のみでは、保護者の希望に沿う量の回収が難しい。
 - ・対象品目の中でも需要の高いもの・低いものを把握できた。

【来年度に向けた課題】

- 保護者の意見を参考にした回収方法の見直し
- 教育委員会と協力しながらリユース事業ができる地域主体への支援



来年度以降の取組について

【来年度の新規拡充要素（予定）】

- 回収
 - ・中学校３年生がいる世帯を対象に卒業時期に合わせて各校で物品回収
 - ・ＰＴＡや地域団体がリユース事業を実施する際に余った物品を回収
- 譲渡
 - ・ＰＴＡや地域団体がリユース事業を実施する際に市の保管物品を譲渡
 - ・保管庫を開放して物品を直接譲渡
 - ・一部リユース品の学校備品化を推進
- 地域支援
 - ・持続可能な制度の構築を目指してＰＴＡ等の主体的な取組を支援・促進
 - ①回収や譲渡に使用するブルーシートやブラケース等の支給
 - ②リユース事業実施時のパナーやのぼりの貸し出し
 - ③旧富沢ふれあいの家で回収品の一時保管



21



ご清聴ありがとうございました

22